

かがやき☆きただより 2018. 1月号

社会福祉法人かがやき神戸 北区事業所発行



〒651-1243

神戸市北区山田町下谷上

西丸山20-30

TEL 582-5544

発行責任者：松本 多仁子

2018年、あけましておめでとうございます。

今年も引き続きご支援賜いますよう、心よりお願い申し上げます

毎年この時期は、冷たい空気の中でキーンと心地よい緊張感と真っ白な紙に何を描こうかとわくわくした気持ちが交錯した中で始まります。

そんな思いの一方で、一抹の不安も・・・今年介護保険も我々の障害者分野も報酬単価の改正の年に当たっています。報酬単価は3年ごとに変わりますが、いつも落胆です。私たちの事業の運営費は大事な皆さんの税金ですので、無駄遣いは許されません。障害者総合支援法（障害者自立支援法の名称がかわりました）は、日割単価で、利用者が来られた日にしか、報酬はいただけません。以前は月単位でした。定員に対する職員数は、日々変えるわけにはいきません。仲間が風邪をひいた、警報が出た、雪で送迎車が出せない・・・そのたびに運営費用は減りますが、職員は、出勤し、様々な業務にあたっています。小学校・中学校で児童が休んだらその分の教育費が減らされているのでしょうか。

福祉の世界は、3K（きつい、きたない、危険）そして1Y（やすい）と言われています。3Kは障害への差別です。1Yは職員給料の安さは職員不足をますます助長しています。社会保障は無駄遣いですか・・・

あ～、年のはじめなのに、怒りと愚痴ばかり出てしまっています。報酬単価の改正に、現場の声を届けなければと思います。介護保険も自己負担が増え、障害者福祉も自己負担が増えます。当事者の自己負担が増えることで、報酬が増えても、それはおかしいことです。高齢の方も障害者も、当事者が必要な支援を受けられるだけの所得保障がされてない中での自己負担増は、本当は必要な支援を抑制せざる得ない状況をつくります。

ねえ、みなさん、おかしいことはおかしいと声を挙げませんか。年末にあるところからご案内がきました。障害者の介護付きの住宅？ホーム？からです。そのチラシには「24時間執事がつきます」という一文がありました。料金は書いていません。すごい商売が始まったな・・・と驚きです。

私の真っ白だった紙には、すでに大きな怒りの印が・・・これから一年がはじまる・・・大変な一年になると覚悟しています。私の仕事は、その怒りを若い職員たちにどう伝え、つなげていくかということです。その仕事は、私にとっては、わくわく気分の期待を一杯持った未来への仕事です。あ～ここでやっと明るい兆しが・・・

「所長も、いつまでも若いと思ったらあかんで～。ええ年やねんから、もっとゆっくりうごきや」と仲間からいわれ、自分の歳と立場を気づかされています。かがやき神戸をこれから支える職員たちが、障害のある仲間たちと一緒に、地域でなくてはならない法人・事業所職員として育っていくプロセスを見まもりながら、上手に次の世代にバトンタッチをするための一年が始まります。この一年、もうしばらく「うるさい所長」として頑張ろうと思っています。今年も引き続き「かがやき神戸」を応援していただきますよう、よろしく申し上げます。

（松本多仁子）



☆今年も国会請願署名活動が始まりました☆



～ きょうされん第41次国会請願署名・募金へ
ご協力を宜しくお願い致します ～

いつも、かがやき神戸へのご支援、ご協力をいただき、本当にありがとうございます。
今年も「きょうされん第41次国会請願署名・募金活動が始まります。

私たち、かがやき神戸は、北区、西区の無認可作業所時代から「きょうされん（旧：共同作業所全国連絡会）」に加盟し、青年期、成人期の障害のある人たちの福祉制度充実のため、全国の仲間たちと活動しています。「きょうされん」が39年間、ずっと訴え続け、一つ一つは小さいけれど、確実に制度を積み上げてきています。とはいえ、まだまだ十分な状況ではありません。

人として当たり前の権利を尊重する事を謳った『国連障害者権利条約』がわが国で批准され5年目となりました。

昨年7月には、相模原市の障害者施設で19人の障がいを持った方々の尊い命が奪われ、多くの方が傷つくという、悲しい事件がありました。

今回の第41次国会請願署名では、絶対に同じようなことが起こらないように、「障害者権利条約」が社会の隅々まで届くために、ぜひ皆様のご理解とご賛同を宜しくお願い申し上げます。

【 今年の請願項目 】

② 障害のある人が家族に依存することなく、自らが希望する自立した生活が送れるよう、所得を保障し、生活を支援する制度を確立してください。

① 深刻な職員不足の解決に向けて、一般就労者の平均賃金より月10万円も少ない福祉職の給与を増額するよう、報酬体系を抜本的に見直してください。

③ 障がいのある人が、65歳を超えても必要とする制度を原則無償で使えるよう、障害者総合支援法の介護保険優先原則を廃止してください

④ 地域生活支援センターについては、安定した運営が出来るよう、国がその実情を把握し、国の責任で予算確保の為に措置を講じてください。

⑤ 障害者権利条約でうたわれた『他の者との平等』の権利を保障できるよう、障害者関連予算の配分率を先進国の平均値なみに引き上げてください。

♪新しい年がはじまりましたよ♪



地域の小学生のみなさん！サッカーはじめてみませんか？ ～「筑紫が丘サッカークラブ」のご紹介～

新年は新しいことを始めるのに、ぴったりの時です。きただより1月号では、昨年、新しく誕生した「筑紫が丘サッカークラブ」を紹介します。

この記事を通して、一人でも多くの小学生のみなさんや地域の方に興味を持っていただけたら・・・、そんな気持ちでお届けします。



広いグラウンドでのびのび練習しています



子どもたちが活躍中！

熱心にコーチの話をきく様子

「筑紫が丘サッカークラブ」

からのメッセージ

6月より筑紫が丘小学校でサッカー教室を行なっています筑紫が丘サッカークラブです。サッカーの経験がある人、ない人問わず小学校1年～6年の子供たちがたくさん来ています。広い運動場でボールをいっぱい蹴って楽しみましょう。興味がある人は練習日にぜひ見学に来てください。また体験したい方は運動が出来る服装でお越しください。

【☆筑紫が丘サッカークラブ情報☆】

会員募集中！

練習日：第1・3・5日曜日、第2・4土曜日 10時～12時

（練習日は変動がありますので、HPを参照してください）

練習場所：筑紫が丘小学校

連絡先：tsukushigaoka.sc@gmail.com

ホームページ：<https://tsukushigaokasc.wixsite.com/team>



子供と一緒に楽しみながら、サッカーを教えてくれるコーチも随時募集していますので、下記連絡先から気軽にお伝えください

※「地域でのこんな活動を紹介したい！」という方がいらっしゃいましたら、是非かがやき神戸（きただより担当）までご連絡下さい（営利活動についてはご遠慮願います様、お願い致します）

「オレンジカフェ（認知症カフェ）」を知っていますか？



「オレンジカフェ」とは、認知症の方やその家族にとどまらず、地域の皆さんなどが気軽に参加できる集いの場です。毎週水曜日に、おいしいコーヒー・紅茶にお菓子をいただきながら、おしゃべりをしています。地域の方が自由に訪問できる居場所づくりを目指している「オレンジカフェ」にぜひ一度、いらっしやいませんか？

開催日：毎週水曜日 10時～15時

内容：専門職による介護相談

会費：一回300円（事前申し込み不要・定員20名）

場所：地域交流スペース あしすと神戸北

住所：筑紫が丘2丁目11-12

電話：078-761-7100

主催：NPO都市生活コミュニティセンター（介護事業所 都市生活ヘルパーステーション）

※「オレンジカフェ」は、神戸市居場所づくり型一般介護予防事業です



是非！ぜひ！ 応援してください！

会の詳細、ご質問は、
かがやき神戸職員まで、
いつでもお気軽に！

あ・な・た・の・入会♪



お待ちしております～♪

「社会福祉法人かがやき神戸を支援する会」への入会のお願い

（年会費 1000円）

振込先：郵便振替 口座記号番号 00930-1-67354

加入者名 社会福祉法人かがやき神戸を支援する会

☆あなたの一口が障がい者の生活を支えます。「きょうされん」の賛助会員にも、ご協力下さい☆

（年会費 個人3000円 団体6000円）

振込先：郵便振替 口座記号番号 00970-3-250425

加入者名 きょうされん兵庫支部

かがやき神戸を支援する会では、会報誌「かがやき」（年4回）を、
きょうされんでは、会報誌「TOMO」（毎月）を作成し、会員の皆様にお届けしています。

—編集後記—

新年を迎えるといつも気持ちが引き締まり、あれこれとたくさん目標を立て、やる気満々で一年がスタートします。ところが年末に達成できている目標は…。
ここ数年は比較的本を読むことが多くなりました。今年も欲張らず、「たくさん本を読んで知識と感性を高めること」を目標にすることとします。（H）